



REINANZAKA SCOUT CLUB



2015年
3月31日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3 電話：03-3583-0403
ホームページ <http://reinzaka-sc.o.oo7.jp/>

No.48

野山を巡れ 霊南坂教会主任牧師 後宮敬爾（うしろくよしや）



わたしは約 60 年前に京都府と大阪府、そして奈良県の県境の村に生まれました。今でこそ立派な住宅地になっているところですが、当時は、何もない小さな田舎村でした。でも、わたしの記憶の中で、この村は素晴らしいところとして残っています。田畑を駆け回ったこと、用水路を兼ねていた小川でザリガニとりに夢中になったこと、友達と近くの山まで冒険に出かけ、みつけた洞穴に入っていくとコウモリが飛び出してきて腰を抜かすほど驚いたこと…。思い出すと今でも「うきうき」した気分がよみがえってきます。子どもたちの心と体は自然の中で健やかな育ちをするのだらう思います。

評論家の C. W. ニコルさんがこんなことをいっておられました。「近年、日本の野山から消滅した生物がいる。それは子どもという生物である」。自然の中で遊んだ体験がある子どもが少なくなっています。いいえ、ニコルさんのことばを借りると、「絶滅危惧種」といってもよいかもしれません。

たしかに、わたしは30年間、教会幼稚園に関わってきて、子どもの変化を見てきました。この13年は札幌市の幼稚園の園長でしたが、札幌は世界の都市の中で積雪の多さで

は2位ですし、人口100万以上の市内に野生の熊が住んでいる唯一の都市だそうです。つまり、世界の中でも類を見ない大自然の中にある都市だということで、それは札幌という町の大きな魅力のほうですが、その札幌で「山に登ったことがない」子どもが増えています。「砂浜を歩いたことがない」子どもが増えています。札幌でさえそうならば、ここ東京では言わずもがなと推察してしまうのです。

その中であって、霊南坂教会のスカウト活動は希望ではないかと思うのです。小さな庭かもしれないけれど、赤坂に子どもたちの楽園があります。こどもたちだけで薪に火をつけ、飯ごうでご飯を炊き、持ち寄った食材を調理して食べて、そして終わったら、みんなで力を合わせて片付けるのです。しかも、月曜日に同じ園庭にきた幼稚園の子どもたちは、そんなことが行われたと気づかないくらいに完璧に自分たちで片付けをしているのです。

子どもたちは、大自然を体験します。そしてその中で自分の力で生きることを経験します。友人たちと力を合わせることを経験します。そして、責任を持って自分に託されたことをやり遂げるという充実感を経験します。

そうした平素の力を蓄えて、夏に自然の中に出かけていくのです。

*Paddle your own canoe;
Don't rely on other people to
row your boat... You will
meet with difficulties and
dangers, shoals and storms
on the way. But without
adventure life would be
deadly dull.*

Rovering to Success



ベーデン・パウエル卿の言葉

**自分のカヌーは自分でこぎなさい。他の人にこいでもらおうと思っ
てはいけない。途中で困難、危険、
浅瀬、嵐などに会おうでしょう。
でも冒険がなかったら人生は死ぬ
ほど退屈なものになるでしょう。**

大都市の中で、そして現代という時代の中で、子どもたちがいつの間にか奪われている時間空間が、このスカウト活動の中にはあるのです。この活動が、これからも神の祝福と多くの人の支えによって続けられていきますようにと願います。



2015年度
霊南坂教会 スカウトサンデー

スカウトサンデー礼拝 説教
「悪魔は耳元でささやく」 後宮敬爾主任牧師

イエス・キリストは、宣教の開始にあたって40日の断食をしました。もちろん、これは断食が目的ではなくて、それほど熱心に「人の救いとは何か」「それをどのように伝えるか」を祈り求めたということです。

40日の断食を終えたとき、「石がパンになるように命じてごらん」という誘惑がありました。イエスが空腹であるということだけでなく、当時の貧しい人々が、経済構造の変化の中で土地を奪われ、小作農民へと追いやられていたという事実を考え合わせますと、飢えを救うことが人の救いだという誘惑だったことが分かります。

しかしイエスは「人はパンだけで生きるものではない」と答えます。たしかにパンに象徴される富は必要なものかもしれないが、それだけでは人間には救いはもたらされないのです。

次に、サタンはイエスを高い山に連れて行き、「わたしにひれ伏すなら、世界のすべてをあなたにあげよう」といいます。この世界をコントロールできるような「知恵」があるということです。けれども、イエスはこの誘惑も拒否されたのです。「人の知恵」では人を救うことができないのです。

最後にサタンはイエスを神殿の頂上に立たせ、ここから飛び降りて自ら神の子であることを人々に示すように誘惑します。それほど力を持っていることを見せつけて、人々を従わせるといいます。けれども、イエスは、この誘惑も拒否されました。力によっては人を救うことができないのです。

富、知恵、力を拒否して、イエスは何を選ばれたのでしょうか。それが愛でした。イエスは愛のみが人を救うものだと確信し、その道を生きて行かれたのです。

悪魔は今も「富、知恵、力こそがたいせつではないか」と私たちにささやきます。わたしたちは、そのささやきにあらがってイエスの道、愛を選び取ろうではありませんか。

霊南坂教会に昨年12月着任された後宮主任牧師は礼拝で、年少スカウトにも分かりやすく、教会でのスカウト運動発祥の経緯と、悪魔に角や尻尾は生えていません、一番優しそうなる姿をして「耳元でささやくのです」と語りかけ。イエスの愛を信じ、BP卿の教えである「幸福を得る本当の道は、他の人に幸福を分かち与えることにある」と説かれました。

編集部

スカウトサンデーにスカウトクラブからプレゼント

3階ホールでの愛餐会のあと、13時から礼拝堂でスカウトクラブ提供の「遠野の民話」を聞きました。年少スカウトには昔の表現や、方言の訛りが理解できない様でしたが、同じ日本語でも表現がいろいろあることを学びました。



語り部・内田芳子さん

1934年 柴波町生まれ

1967年より遠野市在住

柳田國男の「遠野物語」に触れ昔話に興味を持つ

1973年ごろ、語り部“北川みゆき家”で「おしら様」を知る

1996年より、「遠野物語研究所」で勉学

2000年「とおの昔話語り部いろり火の会」

2015年度 霊南坂スカウトクラブ総会 報告

2015年2月22日(日)スカウトサンデーの午後、「遠野民話の会」内田芳子さんの民話、昔話を楽しんだ後、1階ホールで2015年度スカウトクラブ総会を開催しました。

総会は、倉持雅人兄の司会進行で「霊南坂スカウト団歌」を歌い、小崎忠雄会長のあいさつで始まり、2014年度活動報告 田中新二、2014年度会計報告 白井純一、2015年度活動計画 田中新二、2015年度予算案 白井純一が報告、提案(下記参照)して出席者全員了承しました。

2014年度事業報告 要旨

1. 「スカウトクラブ会報」は印刷費の低廉化に伴いカラー化することができました。ホームページは白井兄の尽力によりパソコン、スマートホン、パッドで閲覧出来るようになりました。毎月第2水曜日にオープン集会を開催しました。
2. 8月には恒例の軽井沢「ジャム製造工場」を開設、特製ルバーブジャムを教会バザーで販売クラブ運営費に貢献しました。
3. 11月にはBS 那須野営場に「20周年記念バスハイク」を実施しました。

2015年度事業計画 要旨

- 1: 活動会員の増強とスカウト運動に有効な方策を計画する。
- 2: スカウトサンデー集会などへのクラブ員出席の動機となる施策を検討する。
- 3: 現役リーダー及びスカウトの資質向上に役立つ研修会・講習会等の開催を計画する。
- 4: 現役を卒業するリーダー、スカウト等の入会を積極的に推進する。
5. 年会費納入が年々減少しておりクラブ運営が厳しい状況なので通信費などの削減に努める。

霊南坂スカウトクラブ 2014年度決算報告
(2014年1月1日～2014年12月31日) 2015/1/20 9:55

収入の部		単位: 円	
科目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	488,220	486,085	
年会費	360,000	231,000	@3000×77名(対'13年比▲19)
入会金	5,000	2,000	@1000×2名
賛助金・寄付金	50,000	196,000	
広告収入	12,000	6,000	@6000×1件
事業費	0	274,250	バザー売上 再植樹負担金
雑収入	100,000	150,000	周年記念分割金
受取利息	100	0	
(今年度収入)		859,250	
合計	1,015,320	1,345,335	

支出の部		単位: 円	
科目	予算額	決算額	備考
教会感謝献金	30,000	30,000	
事業費	295,000	729,619	
(事業費内訳)	45,000	35,500	スカウトサンデー
	120,000	80,501	会報印刷費(会報46,47号)
	0	115,598	バザー
	100,000	100,000	現役スカウト団支援金
	20,000	0	講習会・研修会
	10,000	398,020	新事業(20周年那須再植樹)
通信費	130,000	128,980	総会案内・会報輸送費・HP料
事務費	25,000	29,294	
会議費	35,000	31,200	
雑費	10,000	26,000	
雑費	55,000	30,234	
小計	580,000	1,005,327	
次年度繰越金	435,320	340,008	
合計	1,015,320	1,345,335	

以上の通り、ご報告申し上げます。

霊南坂スカウトクラブ 会長 小崎 忠雄
会計 白井 純一

スカウトクラブ基金 (単位: 円)	
昨年末残金	660,570
受取利息	175
今年末残金	660,745

会計監査の結果、適正に処理されていることを認めます。 会計監査 日下部 英一 榎 健一

霊南坂スカウトクラブ2015年度予算(案)
(2015年1月1日～2015年12月31日)

収入の部		単位: 円		支出の部		単位: 円	
科目	予算額	備考	科目	予算額	備考	備考	備考
前年度繰越金	340,008		教会感謝献金	30,000			
年会費	300,000	@3000×100名(対'14年+23名)	事業費	386,000			
入会金	5,000	@1000×5名	(事業費内訳)				
賛助金・寄付金	50,000			45,000	スカウトサンデー		
広告収入	6,000			81,000	会報印刷費(会報48,49号)		
事業費	140,000			100,000	バザー		
雑収入	0			100,000	現役スカウト団支援金		
受取利息	50			60,000	新事業(イベント6月10月予定)		
				通信費	105,832	総会案内・会報輸送費・HP管理	
				事務費	15,000	封筒代等	
				会議費	27,000	月例集会(20000)・SC総会(7000)	
				雑費	19,000		
				雑費	10,000		
(今年度収入合計)	501,050			(今年度支出合計)	531,832		
合計	841,058			次年度繰越金	309,226		
				合計	841,058		

スカウトクラブ基金 (単位: 円)	
昨年末残金	660,745
受取利息	100
本年度末残高予定	660,845

上記の通り2015年度予算(案)をご提案申し上げます。

2015年2月22日

会長 小崎 忠雄
会計担当 白井 純一

後半はお菓子和イチゴを頂きながら懇談しました。

- * 会費徴収、基金の使い道、スカウトクラブの意義など、それぞれの視点から意見が交わされた。
- * 今年のエンターテイメントについて「語り部」は訛が強く子ども達には理解できなかったが、同じ日本の中でも話す言葉が色々あることを学んだのではないか。
- * 杉原名誉団委員長より、教会創立135年、スカウト発足68年が経ち、いろいろ見直す時期に来ているのではないか。日本のスカウト運動も本来の主旨にもう一度立ち返り、本当のスカウト活動とは何かを考える時期にきていると思う。本来のスカウト運動は地域、社会に貢献することに大きな目的を持ち、実践することに意味がある。今の活動が自分たちの楽しみのためだけになってはいないかを今一度考え直していきたい。

質問・意見

- * 会費を払っている会員とそうではない会員との差を何かつけてはどうか。
- * スカウトクラブの主旨を見直して行く時期にさしかかっているのではないか。
- * 毎月のオープン役員会とは何か
→ 役員会ではあるが会員の参加を期待し待っている。
- * スカウト基金の使い道について
→ 使い方を議論し決定できるのは総会しかない。この場で話し合ってはどうか。

小崎忠雄さんは2015年3月11日午前0時04分 召天されました。

さよならターちゃん 大岩 久

出会いは、昭和20年10月、私が集団疎開から母親たちの居る靈南坂教会に帰った時でした。当時は戦災で焼け出された信者の方々が数家族、教会の集会室などに暮らしていました。うちは教会員ではありませんでしたが、小崎牧師ご夫妻のご厚意で、そこに落ち着くことが出来たのです。

丁度中1のターちゃんは反抗期で、しばしば母上を悩ませていたようでしたが、私の兄（志水功）も中1で同じく反抗期。母親同士、よく話し合っていたようでした。先日、長谷川朝雄兄のお話を伺うと、戦時中ターちゃんはキリスト教ということでかなり苦しい体験をされたとか。また、日本が勝つと信じていた「軍国少年」の兄は敗戦によって、その気持ちの持って行き場に苦しんで

いたようでした。

今井襄二氏という強力なリーダーのもと、中2と小5の少年たちが集まり、英語のハンドブックを辞書片手に解読し、縄むすびや救急法、道しるべなどを学び、英語で歌をうたい、楽しい時を過ごしているのをそばで見ている、たいへん羨ましく思ったものでした。

先日、久しぶりに礼拝に出席した私をターちゃんは新任の後宮牧師に「僕と兄妹のように育ったの」と紹介してくださいました。その1か月後、突然神様の御許に行ってしまいました。あまりにも突然で、残されたものは茫然としてしまいますが、姿は見えなくても、いつもどこかから見守っててください。

さようなら、ターちゃん。



スカウトクラブから花を贈りました



前夜式では長男、公平さんが挨拶

Once a Scout, always a Scout 杉原 正

“ターちゃん”の愛称で誰からも敬慕された小崎忠雄さんが突然天に召されました。教会員である私にとって日曜の礼拝を休むことなく玄関内に立って来会者を笑顔で迎え、握手してくださる手の温もりが今も残っています。

ターちゃんとの教会の出会いは教会学校であり、当時は中等科と高等科合同の集会や行事があり、神宮外苑での野外礼拝や千葉・富津海岸での夏期学校キャンプを共に過ごしたことは、特に思いで深いことであります。

スカウト活動では3歳年長の班長と班員としての出会い、旧教会の赤レンガの鐘楼にあったスカウトルームを中心に、よくハイキングに出掛けお世話になりました。雨の日には園庭から見て3階建ての牧師館（小崎家）を縦横にスカウトの追跡サインを使って室内ハイキングや夜の度胸試しも懐かしい思い出であります。少し悪戯っぽい、またお老成（おませ）な一面を垣間見るターちゃんの少年時代を共に過ごしたことを忘れることはできません。ターちゃんの年長班としてラム班の活動、

今田、飯田さんらと共にウクレレを使っている音楽活動は、とても羨ましかったことを覚えています。ターちゃんのスカウト活動は長くはありませんでしたが、その後は団委員長、スカウトクラブ会長として先駆けていただき心より感謝いたします。

ターちゃんは折々の機会にB-Pの協力者キッチン一元帥の言葉「Once a Scout, always a Scout」を引用されています。1948年に中村知氏がこの名句を歌によって説明する意図で<永遠のスカウト>を作り、第1節で“一度スカウトにちかいを立ててなりし身は、いつもいつもスカウトだ”最後の第4節で“この世のスカウトに命捧げてつかえなば、死して後もスカウトだ”としています。生涯を社会福祉に捧げた人生は“神を愛し、他の人々を援けます”というスカウトスピリットを体現されたと思います。

永遠のスカウト仲間のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

まさか嘘でしょ！ 西郷崇子

まさか嘘でしょ！突然の訃報に言葉を失いました。どんな時も穏やかにニコニコと大きな心で見守ってくださっていました。小崎忠雄兄、忠雄さん、たあちゃん！今この時神様の御許にお送りするなんて思いもしなかったことです。

お祖父様の小崎弘道先生により霊南坂教会が創立され135年、お父上の小崎道雄先生により霊南坂スカウトが発団して68年、霊南坂スカウトクラブ創設21年、初代会長として今日までお支え頂きました。小崎家3代目の忠雄さんと一緒に間もなくめぐりくる霊南坂スカウト70周年を迎えたかったです。歴史の歩みの中で、教会にとっても、スカウトにとっても様々な

道のりを乗り越えて来ましたが、いつもその中で忠雄さんは深い信仰と大きな心でその歩むべき道をしっかりと支えてきてくださいました。毎週日曜日誰よりも早く玄関に立って、霊南坂の太陽のように礼拝に集まってくる私たち一人一人に声をかけて、あの笑顔で迎えてくださいました。

"Once a Scout always a Scout"霊南坂スカウトクラブの会長としても発足以来常にこの心を大切に実践されて来られました。先の大戦の戦後の荒廃した中で生まれたスカウトに出会い、その若かりし時を過ごした思い出は尽きることがありません。今日までの豊かな恵まれたお交りを心から感謝いたします。

本当にありがとうございました。



甚だしきショック 荒垣恒英

(ニューヨーク在住)

週末の小旅行より戻った昨夜メールを拝見し、懐かしきターちゃん、コト小崎忠雄氏他界の悲報に接し、甚だしきショックを拭うことが出来ませんでした。想えば、今から凡そ68余年になりました。未だ、戦争の齎した傷が日本人の心身に残っていた1947年(昭22)頃、神のお導きで、私は、霊南坂教会のスカウト活動に参加する機会を与えられ、其処で、ターちゃん等スカウト仲間と有意義な人生経験を持つことが出来ました。それは、私の人生の中の大きなイベントで有りました。そのターちゃんが昇天された事を伺い、今、私は大きな寂しさを隠さずには居れません。そして、此の時に至って、当時の「仲間」達、幼くして音楽の才能を持ち合わせ、スカウトソングの時は何時も指揮をしてくれた志水功ちゃん、トランペットが上手く、また何時も彼特有のジョークで我々仲間を笑わせていた飯田貞雄君、何時も、規律も姿勢も正しく、ひとの遣りたがらぬ事でも率先してやっていた今田富士雄君(フーちゃん)等々のことを目の当たり

に思い出しております。同時に、霊南坂チャーチスカウトを、我々に紹介して下さい、Martin Williams氏、及びMr. George Imaiの事まで、走馬灯のように、私の脳裏に舞い戻って参りました。そんな中で、何時も中心的な存在を占め、我々を纏めてリードしてくれて居たのが、教会の牧師館にお住まいだった著名な小崎道雄牧師先生の次男坊、即ち、我々の「ターちゃん」だったのです。其の、ターちゃんも、今頃は、スカウトで繋がった、みんなと、天国で、想いで話に花を咲かせて居られる事と想い、いささかの安堵に似た気持ちになった次第です。そして、私も、何時の日か、神の思召しで、他界の機会に恵まれましたならば、屹度、かの地で、懐かしきスカウト仲間と逢って思い出話を楽しめるのだなと想い、昇天と云う事に恐れを持たないで、与えられた余命を全うして行こう、と自分に誓いました。

TODA CLEANERS

戸田クリーナーズ

六本木店 〒106-0032

東京都港区六本木1-3-41 (アークヒルズサイド1F)

TEL/FAX : 03-3583-0450

柿ノ木坂店 〒152-0022

東京都目黒区柿ノ木坂3-4-9

TEL: 03-3422-5538 FAX: 03-3421-3034



霊南坂教会での5年間の働きを終えて、私はこれから米国カリフォルニア州にあるシカモア組合教会に遣わされようとしています。在任中、霊南坂スカウトに連なる多くの方々に、良きお交わりとお支えをいただきましたことを心より感謝いたします。

思えば、霊南坂教会との出会いはスカウトとの出会いでありました。スカウトという存在は知っていましたが、そのイメージは制服だけ。一体何をしている団体なのか、教会とどのような関わりがあるのか、そうしたことについては全く知らずに、霊南坂教会での働きがスタートしたのです。しかし、その「未知なるスカウト」は私の中で、気がつけば「憧れのスカウト」に、そして「誇り高きスカウト」に変わっていきました。一番驚かされたことは、スカウト活動がリーダーや団委員の方々の奉仕によって支えられているということでした。

奉仕というのは、教会において大切な信仰的行いです。神に与えられた命を、神と隣人のためにささげて行く。それは、神が喜ばれる素晴らしい生き方と言われるのです。しかし、一般社会において奉仕はあまり流行りません。多くの人は報酬を求めて汗を流すのです。ところが、スカウトに関わる方々は、クリスチ

ヤンでない方も多くいるにもかかわらず、この奉仕の精神に生きています。時間と労力をスカウトに注いで、子どもたちのために汗を流す人々がいるのです。その事実を知った時、スカウトはなんと尊い働きによって支えられているのかと思わされました。

また、毎週の活動や年に数回のキャンプなどを通して、スカウトとして生きる子どもたちの成長にも触れました。彼らが持つ技術や知識にはいつも感動させられ、スカウトとは生きる喜びと、生きる力を子どもたちに与える活動なのだ気付かされました。

今この時代は、子どもたちが生きる喜びと、生きる力を失っている時代だと言われます。これは深刻な問題です。しかしスカウト活動は、こうした社会の課題にも応え得る力と可能性を秘めています。私は霊南坂スカウトと出会って、その希望を見ました。だから、私にとってスカウトは「誇り高い」のです。

シカモア組合教会の近くにもスカウトがあります。シカモア組合教会ではその子どもたちを招いて、2月のスカウトサンデーの礼拝を守っています。霊南坂で出会ったスカウト活動に、アメリカの地でも関われることを知って嬉しく思いました。私はこれからも、スカウトの魅力に気付かされていきたいと思っています。霊南坂スカウトに連なる皆さんも、スカウト活動に誇りを持って、世の闇に光を照らす良き活動を続けていって下さい。これからも霊南坂スカウトの上に、神様の恵みと祝福が豊かにありますように。

第23回世界スカウトジャンボリーが日本で開催されます



第23回世界スカウトジャンボリー概要

会期 / 2015 (平成27) 年
7月28日 (火)~8月8日 (土)
12日間

テーマ / 和 : a Spirit of Unity

会場 / 山口市阿知須・きらら浜

参加人員 / 14歳~17歳の中・高生を
中心に約3万人
世界スカウト機構に加盟する
162の国と地域から参加

世界中から3万人の青少年が集い、和をテーマに開催されます。霊南坂スカウト7名が参加します。霊南坂スカウトOG/OBで構成するAJ-SEPはアフガニスタンから7名を招聘します。

六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理

島唄楽園

SHIMAMOTA PARADISE

* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています *
ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階
TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階
TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30~14:30(月~金) 島酒タイム17:00~24:00

スカウトクラブ 年会費・賛助金 納入者名(年度に拘らず)

(敬称略)

霊南坂スカウトクラブは皆様の年会費と賛助金、バザーなどでの収益金によって運営しております。

近年、年会費の納入をお忘れの方が多く、クラブ運営に支障をきたしております。会費納入をお忘れなくお願いいたします。今年より「ゆうちょ銀行」振込先番号が変わりました **00170-4-765243** の伝票をお使いください。

Hennings 光	大塚 多恵子	小河 るり子	高橋 温子	深瀬智子 (五十嵐)
Lee 真美江 (太田)	大槻 敬太郎	小坂 洋子・秀一	高橋 俊	藤井千鶴子(長谷部)
Ritchie 昌子(萩原)	大槻 将嗣	小崎 敬子	高橋 準一	藤沢 いう子
Wybom ルミ子(村越)	大中 誠	小崎 忠雄	高橋 弘長	古谷 絃一
青木 義明	大室 洋子 (伊藤)	小崎 美恵	竹本 裕子	古谷 久代 (岸田)
縣 麻里子	岡田 茂	小林 孝江	龍 茂久	伯耆 柚子 (小島)
朱村 宏	岡田 靖子 (神藤)	後藤田 敦子	龍 忍・永久子	真木 宗一郎
浅田 きよみ	岡本 洋子	小松 正太郎	田付 茉莉子 (大内)	牧 輝子 (奥村)
足立 園恵	小川 朋子	小宮 忠紀	龍澤 ゆり子	牧野 暉子 (花崎)
足立 ふみ	沖本 尚子 (小久保)	小柳 末利	田中 新二	増田 光春
安積 幾也	尾崎 裕幸	西郷 崇子 (原)	田中 節子 (犬飼)	松下 俱子 (三木)
荒垣 恒英	小澤 宏亘	齋藤 圭子 (厚木)	田村 真美子(津布久)	萬石 敏夫
有馬 健太郎	小田島 典子	齋藤 忠雄・芳子	田村 茉莉子	南 ひろ子 (石川)
安西 松江	落合 光治	齋藤 文雄	塚田 洋子	宮治 美江子 (黒部)
飯泉 千恵子 (井出)	海上 春之	*匿名希望Sさん	寺田 善次郎	村田 守昭
飯泉 和行	葛西 瑛子・邦武	礪原 直子	遠山 兼宏	百塚 健一
飯田 誠子	笠本 悦子	桜井 啓子	時枝 紀子	百塚 正恵
五十嵐 佐和江	片岡 孝	笹本 信子	戸田 健次郎	百塚 竜一
五十嵐 洋子	可知 清和	佐藤 鴻	友常 明子 (里見)	森下 あつ子
井川 重夫	加藤 佑二・美江	佐藤 智子	豊田 麻里子 (針替)	盛田 秀夫
池田 早苗 (清水)	金森 勝芳	佐藤 八重子 (小鹿)	内藤 智恵子 (針替)	森田 美知子 (栗原)
石井 喜美江 (今田)	金子 和樹	澤田 明秀	内藤 正樹	森本 健司
石井 道子	金子 康子 (加藤)	篠沢 明	長井 和美	矢澤 宏子 (内山)
石川 正巳	神谷 和子	嶋内 理恵子(永山)	中郡 伸一	安川 清一
石田 隆一	川 正興	島村 寛	中島 国昭	柳 健一
五十野 和男	川 洋子	志水 功	中島 千賀子	山崎 亜子 (伊藤)
井出 奈々子	河合 潤子 (萬井)	清水 康輝	中田 豊	山崎 久子
伊藤 由美子	川嵩 豊	清水 裕	中谷 和子	山田 紀代 (堀越)
犬飼 勇雄	川並 光昭	下河辺 元春	中村 秀美 (菅野)	山田 里絵子
井上 純	川原 るみ子 (百塚)	上子 千珠子(鷺崎)	中村 美津江 (佐藤)	山田 良子
井上 大成	菊田 方晴	白井 満	長山 紀美代	山寺 健基
井上 登志子	菊本 悦子	城所 繁子	永山 茂樹	大和 健二
今井 榮	木崎 かおる (柳)	神藤 英昌	永橋牧子 (黒部)	大和 秀一
今井 奈緒子	岸田 順子	菅家 朗	西石垣 文江 (今田)	山本 純代
上原 榮一	木田 節子 (遠藤)	杉田 憲彦	西川 安子 (九鬼)	鎗田 宝栄
宇佐美 暁	木田 節子 (遠藤)	杉原 正	西谷 芳美 (渡邊)	横山 恭二
宇佐美 幸子	北畑十思子(長谷川)	杉原 直明	野口 佐都子	横山 登・俊夫
臼井 純一	北原 陽介	鈴木 栄子 (関本)	萩原 真伊子	与謝野 馨
宇田川 和子	北村 直子 (矢澤)	鈴木 治之	長谷川 幸男	吉田 恵子 (大塚)
宇田川 淑明	木下 忠昭	鈴木 晴江 (中川)	畠山 幸子 (新井)	吉田 進
浦野 須磨子	木下 靖枝 (松井)	鈴木 孝典	服部 保子	米本 玉江
浦野 真生	木村 恵子 (田中)	鈴木 武夫	浜野 恵子 (小林)	脇村 聡子
遠藤 斗紀雄	九鬼 隆甫	鈴木 範子	林 美枝子 (大久保)	脇村 仁樹
大石 朋子 (松崎)	日下部 英一	鈴木 浩之	林田 町子	脇村 茉莉子
大石 みちこ	榎部 ふじ	須田 美弥子	林田 勇武	鷺崎 文彦・康子
大岩 久 (志水)	来代 早苗	諏訪原 礼子(齋藤)	原 陽一	和田 富士子
大内 真人	倉田 侑貴子	関口 敦夫	針替 茂人	渡辺 邦子
大賀 由紀子	倉持 和子 (安保)	関山 真理子 (川)	針替 富美子	渡辺 澄
大川 修	倉持 雅人	芹野 朝子 (小崎)	半田 貴久	渡辺 博
大故 晋一	黒田 朋子 (国谷)	高嶋ひろ子 (渡邊)	檜垣 君子 (鈴木)	渡辺 誠
大島 啓義	黒部 愛子	高玉 大	日野 珠子 (日下部)	渡辺 雅弘
太田 幸子	黒部 峰子	高鍋 美和 (加藤)	平井 幸彦	
大谷 徳義	小池 緑 (西家)	高橋 彰男	平木 庸匡	
	河内 潔			

* お名前の記載漏れがありましたらお知らせください。

霊南坂スカウトクラブ 告知板

月例オープン集会

月例オープン集会にぜひご参加ください。

現役時代に戻り・話して食べて・楽しい集会にしたいと計画しております。

原則毎月(8月は休)第2水曜日

(祭日に当たる時は第3水曜) 19時～
神谷町の「エリー」で開催いたします。

お問い合わせは

stp@nifty.com 又は 090-3341-7311
田中新二まで・・・
お待ちしております。

小崎忠雄会長は召天されましたが、突然のことで信じられません。仲間として、お名前を残し、会長代行をたて、忠雄さん命をしばらく引き継いでまいります。

霊南坂スカウトクラブ役員

会長	故・小崎忠雄
会長代行	西郷崇子
	総括
副会長	田中新二
	クラブ会報編集長
会計	臼井純一
会計	檜垣君子
総務	倉持雅人
総務	戸田健次郎
書記	塚田洋子
書記	西谷芳美
書記	小田島典子
通信	矢澤宏子
広報・団	清水康輝
広報・HP	臼井純一
教会・団	古谷久代
	ガールスカウト団委員長
監事	日下部英一
監事	柳 健一



スカウトクラブのホームページ

霊南坂スカウトの最新情報や昔懐かしい写真など、いろいろな情報が詰まったホームページを運営しています。

<http://reinanzaka-sc.o.oo7.jp/>

伝言板コーナーに、ふるって投稿をお願いいたします。

皆様からの情報提供をお待ちしています。

前回スカウトクラブの運営についてアンケートを実施しましたが、返信用 Fax 番号が違っていたためか集計できませんでした。再度アンケートを行いますのでご協力ください。

この会報への広告出稿をお願いいたします。

サイズ：11.3×8.2cm

掲載料：1回3,000円×年2回予定
デザインなどはスカウトクラブでもお手伝いいたします。

吉岡恵生(よしおか やすたか)牧師は3月末にて退任されカルフォルニアのシカモア組合教会に転任されます。出発まで協力牧師としてお働きくださいます。

4月より井上創(いのうえ はじめ)牧師が就任されます。

会費の納入をお忘れではないですか？

スカウトクラブは現団への支援、会報印刷、通信費など、皆様の会費とバザーの収益金、賛助金で運営しています。毎年の納入をお願いいたします。

今年度より振込先「ゆうちょ銀行」の番号が変わりました。00170-4-765243 の伝票をお使いください。

他行からの振込の場合は

ゆうちょ銀行：店名（店番）019（ゼロイチキュー）店 当座 0765234

口座名：霊南坂スカウトクラブあてをお願いいたします。

住所変更、メールアドレスの変更などありましたら、霊南坂教会内スカウトクラブ宛またはeメールで下記にお知らせください。

スカウトクラブへのメールは

御意見、ご希望、ホームページ、会報などへの情報は下記にお寄せください。stp@nifty.com

編集後記

3月11日突然、霊南坂スカウトの巨星を失いました。予期しなかった召天のショックと悲しみに耐え、忠雄さんを偲ぶページを作りながら、忠雄さんとの70年ちかい、さまざまな場面を思い出しました。10代の頃はちょっとヤンチャな兄貴として、近年は包容力のある父親的な存在でした。霊南坂教会創設の小崎家3代目として教会を愛し、スカウト運動を守られたことに感謝しています。これからも忠雄さんの命を引き継ぎ、4代目の公平さんらと共に霊南坂教会でのスカウト運動をすすめてまいります。田中新二

視界 360°、地上 152m からのダイナミックな景観

世界貿易センタービルディング 展望台
展望台
シーサイドタワー

展望台料金
大人・高校生 620円
小・中学生 360円
幼児 260円

東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 40階 (JR 浜松町駅直結) TEL:03-3435-6026
<http://www.wtcbltdg.co.jp/wtcb/facility/seaside/index.html>